

令和4年度 阿蘇中央高校阿蘇清峰校舎 シラバス

教科	国語	科目	国語表現	単位数	2
学年	3	学科	総合選択	担当者	井手裕美子
教科書	大修館書店「国語表現 改訂版」		副教材	東京書籍「ステップアップ日本語講座 上級編」浜島書店「国語表現ナビ」	

1 学習の目標…この科目を学んでどんな力が身につくのか

国語で適切かつ効果的に表現する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし、言語感覚を磨き、進んで表現することによって国語の向上や社会生活の充実を図る態度を育てる。

2 学習のポイント

国語表現は、どちらかといえば実技教科に近いものがあります。様々なかたちでの言語を使った表現を行うなかで、どうしたら自分の伝えたいことが、的確かつ効果的に伝わるか、考えながら活動しましょう。表現の基礎には国語力がありますので、漢字の読み書きや現代文法などの基礎的知識も大事です。語彙を豊にする努力をしましょう。

3 評価の基準および観点別割合

評価の観点	知識・技能（技術）	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	備考
1 定期考査	○	○		
2 提出物	○	○	○	
3 授業態度		○	○	
4				
5				
6 資格・検定				
観点別割合	30 %	40 %	30 %	

4 担当者からのメッセージ

国語表現は、知識を増やす活動と、表現する活動の2つを毎回行っていきます。知識に関しては、間違った所を復習するなどして、年末の日本語検定模擬試験3級合格を目指します。表現に関しては、志望理由書や履歴書の書き方、面接の基本など、進学や就職に必要な活動も行います。

5 学習計画

学期	月	学習單元	学習の到達目標
1 学期	4	時事問題についての3分間スピーチ 「日本語講座 上級編」 「国語表現ナビ」	・新聞やインターネットから、興味のある話題について知り、それについて説明したり、意見や感想を述べたりすることができる。 ・テキストに取り組み、日本語の語句や文法について知識を増やす。
	5	履歴書の書き方 「日本語講座 上級編」 「国語表現ナビ」	・履歴書や履歴書を書く志望理由を書くことができる。 ・テキストに取り組み、日本語の語句や文法について知識を増やす。
	6	模擬面接 「日本語講座 上級編」 「国語表現ナビ」	・模擬面接のなかで志望理由などをはっきりと表現できる。 ・テキストに取り組み、日本語の語句や文法について知識を増やす。
	7	手紙の書き方 「日本語講座 上級編」 「国語表現ナビ」	・暑中見舞いのはがきや、内定のお礼状のはがきを書くことができる。 ・テキストに取り組み、日本語の語句や文法について知識を増やす。
2 学期	8	創作童話をつくる 「日本語講座 上級編」 「国語表現ナビ」	・熊本日日新聞に応募する創作童話をつくることができる。 ・創作した童話を一枚の用紙にして、湧穂祭で展示する。 ・テキストに取り組み、日本語の語句や文法について知識を増やす。
	9		
	10	電話応対 「日本語講座 上級編」 「国語表現ナビ」	・敬語の使い方を学び、電話応対で実践できる。 ・テキストに取り組み、日本語の語句や文法について知識を増やす。
	11	日本語検定団体特別試験を受験する	・日本語検定団体特別試験3級レベルを受験し合格を目指す。
3 学期	12	招待状に対する返信 香典やご祝儀の書き方 「国語表現ナビ」	・結婚式や同窓会の招待に対する返信を書くことができる。 ・香典やご祝儀などの表書きを正しく書くことができる。 ・テキストに取り組み、日本語の語句や文法について知識を増やす。
	1		
	2		
	3		

令和4年度 熊本県立阿蘇中央高等学校 シラバス（2・3年生）

教科	国語	科目	現代文A	単位数	3
学年	3	学科	A, G, W	担当者	菊永、山本
教科書	現代文A(三省堂)		副教材	「現代の語彙力向上の壺」、「常用漢字オールクリア」 「常用漢字オールクリア別冊徹底トレーニングノート」	

1 学習の目標…この科目を学んでどんな力が身につくのか

近代以降の様々な文章を読むことによって、我が国の言語文化に対する理解を深め、生涯にわたって読書に親しみ、国語力の向上や社会生活の充実を図る態度を育てる。

2 学習のポイント

- ・例えば現代文の教科書本文や新聞のコラム欄など短いもので良いので文章を最後まで根気強く読みましょう。
- ・副教材を有効活用して就職試験・入学試験合格に生かしましょう。

3 評価の基準および観点別割合

評価の観点	知識・技能（技術）	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	備考
1 定期考査	○	○		課題、中間、期末、学年末考査
2 提出物	○	○	○	授業ワークシート、各種課題
3 授業態度		○	○	発表、音読、ワークシートへの取組等
4				
5				
6				
観点別割合	40 %	30 %	30 %	

4 担当者からのメッセージ

現代文の学習は、就職試験や入学試験対策に直結します。
特に、敬語の学習は面接試験対策に有効です。

5 学習計画

学期	月	学習单元	学習の到達目標
1 学期	4	随想「求めるものに込めてくれる」 日本語エクササイズ③「敬語」 「現代の語彙力向上の壺」	・文章の内容に着目し、筆者の主張を読み取る。 ・敬語の種類を理解し、敬語を適切に使うことができる。 ・問題演習を通して国語常識を身に付ける。
	5	日本語エクササイズ④「ことわざ・慣用句」 日本語エクササイズ⑤「わかりやすい文章」 「現代の語彙力向上の壺」	・問題演習を通して国語常識を身に付ける。 ・就職試験や入学試験での履歴書や志願書、作文や小論文に生かす。 ・問題演習を通して国語常識を身に付ける。
	6	評論「人はなぜ働くのか」 「現代の語彙力向上の壺」	・文章の内容に着目し、筆者の主張を読み取る。 ・問題演習を通して国語常識を身に付ける。
	7	日本語エクササイズ①「対義語・類義語」 日本語エクササイズ②「四字熟語」 「現代の語彙力向上の壺」	・問題演習を通して国語常識を身に付ける。 ・問題演習を通して国語常識を身に付ける。 ・問題演習を通して国語常識を身に付ける。
2 学期	8		
	9	小説「アマガエル」 「現代の語彙力向上の壺」	・文章の調子などを味わいながら音読をしたり、印象に残った内容や場面について文章中の表現を根拠に説明したりする。 ・問題演習を通して国語常識を身に付ける。
	10	評論「眼差しを交わす喜び」 「現代の語彙力向上の壺」	・文章の内容に着目し、筆者の主張を読み取る。 ・問題演習を通して国語常識を身に付ける。
	11	小説「山月記」 「現代の語彙力向上の壺」	・文章の調子などを味わいながら音読をしたり、印象に残った内容や場面について文章中の表現を根拠に説明したりする。 ・問題演習を通して国語常識を身に付ける。
	12	随想「最初のペンギン」 「現代の語彙力向上の壺」	・文章の内容に着目し、筆者の主張を読み取る。 ・問題演習を通して国語常識を身に付ける。
3 学期	1	1年間の復習	・1年間で学んだ現代文学の要点をつかみ、「1 学習の目標」を達成する。
	2		
	3		

令和4年度 阿蘇中央高校阿蘇校舎 シラバス

教科名	地歴・公民	科目	日本史A	単位数	2
学年	3	学科	A,G,W	担当者	佐伯 彰彦
教科書	高等学校改訂版日本史A 第一学習社		副教材	配布プリント	

1 学習の目標・・・この科目を学んでどんな力が身につくのか

- ① 私たちが今生きている世界がどのように作られてきたのか、世界で起こる出来事をどう捉えればいいのか、基礎的な知識を身に付け、それをもとに考えることができる。
- ② 資料などの読み取りをとおして、情報を表に見える部分だけで判断せずに、様々な見方でよく調べ、それをもとに自分の考えを述べることができる。
- ③ 一人一人が大切にされる世の中を自分たちで作っていくという意識のもと、どのような選択をして生きていけばよいか考えることができる。

2 学習のポイント

- ① 用語を丸暗記して覚えるのではなく、結果的に自然に覚えてしまうくらい教材を読み込んでください。
- ② ものごとの全体像を捉えて、自分の言葉で説明することで、歴史をどのように学ばいいのかを身に付けていきましょう。
- ③ 一つの答えだけで満足せず、めんどくさながら、当たり前だと思っていることも疑いながら、考えることを続けましょう。

3 評価の基準および観点別割合

評価の観点	知識・技能（技術）	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	備考
1 定期考査	○	○	○	丸暗記した知識をたたく答える問題ではなく、応用できる形で身に付けているかどうかを問う問題を中心に出題します。
2 提出物	○	○	○	提出したかどうかではなく、授業にどのように取り組んで、どのような知識や見方・考え方を身に付けたかを重視します。
観点別割合	40 %	40 %	20 %	

4 担当者からのメッセージ

暗記が苦手だから歴史が嫌いという人がいますが、まずは歴史の勉強は暗記をするものという考え方をやめてみてください。たくさんものを知っていることはとても大事ですが、丸暗記するだけでは意味はありません。たくさんものを知るのには、それをもとにして自分なりに考えるためです。そのために、ものの見方と知識を結び付けて身に付けていってください。そして、日本史の学習を就職・進学試験や定期考査のためで終わらせず、世界のこれまでとこれから、そして自分のこれまでとこれからをしっかりと考えてみる機会にしてください。

5 学習計画

学期	月	学習単元	学習の到達目標
1 学期	4	第1部 私たちの時代 第2部 近現代の日本と世界 第1章 近代国家の形成と国際関係の推移 第1節 近代への胎動 1 せまってくる外国船 2 ちからを蓄える庶民 3 近代思想のいぶき 4 揺らぐ幕藩体制	ねらい：江戸時代の日本の外国との関係について、鎖国時の外国船の接近に関して、また日本の近代思想に関して理解する。 ①この内容に関連する知識・技能を、活用できる形で身に付けている。【知識・技能】 ②身に付けた知識・技能をもとに、この内容について学ぶことで見出された見方・考え方を活かして、設定した主題について思考したり判断したり表現したりすることができる。【思考・判断・表現】 ③上記の①②についてどのくらい学べているかを自分で把握し、自分の学び方のよい点を伸ばしたり悪い点を改善したりするなどの見直しを行い、さらに自分で選んだ学び方に粘り強く取り組むことで、上記の2点の学びが深まっている。【主体的に学習に取り組む態度】 以下についても同様に、各ねらいに対して上記①②③にもとづいて評価するものとする。
	5	第2節 開国と幕末の動乱 1 黒船がやってきた 2 志士たちの時代 3 手を結ぶ薩長 4 近代との出会い 5 江戸幕府が終わり新政府へ	開国した日本と欧米列強の関係について、ペリー来航に関して、明治新政府への移行に関して理解する。
	6	第3節 近代国家の形成 1 江戸が東京になった 2 天皇の軍隊がつくられた 3 スローガンは「富国強兵」 4 欧米文化がはいつてきた 5 日本の国境が定まった 6 爆発する農民や士族の不満	新政府の特徴や制度を資料をもとに理解する。また日本の近代化に関して、日本の国会開設に関して理解する。
	7	7 国会開設が決まった 8 地主制が進行した 9 立憲政治がはじまった 10 国会がはじめて開かれた	
	8	第4節 国際関係の推移と近代産業の発展 1 欧米と肩を並べる国をめざして 2 清国との対立が深まった 3 藩閥と政党が接近した 4 ロシアとの戦争がおこった 5 アジアへの勢力拡大がはじまる	日清、日露戦争の特徴について、またその背景と結果について理解する。
	9	6 国民の生活が圧迫された 7 綿糸と生糸が支えた産業革命 8 欧米の資本主義に仲間入りした 9 貧富の差が広がった 10 国家主義が台頭する 11 教育が進展した 12 明治の文化が花開いた	
	10	第2章 両大戦をめぐる国際情勢 第1節 第一次世界大戦と日本 1 民衆が政治を動かし始めた 2 最初の世界大戦に日本も参戦した 3 成金の時代がやってきた 4 朝鮮・中国の民衆が立ち上がった 5 日本は欧米に歩調をあわせた 6 「平民宰相」が登場した 7 抑圧からの解放をもとめて 8 新しい文化とモダンな都市が生まれた 9 学問と芸術に新風が吹く	
2 学期	11		第一次世界大戦の経緯・特徴について、日本の大戦参戦の背景と経過について、大戦時の日本の好景気について、大戦後の朝鮮・中国の民族運動について、大戦後の日本の国際関係について、日本の政党政治について理解する。
	12	第2節 第二次世界大戦と日本 1 恐慌の風吹きあれる 2 日本の外交が行きづまる 3 軍部の暴走がはじまった 4 中国との長い戦いがはじまった 5 戦争の影が文化におよぶ 6 すべてが戦争に協力させられた 7 アメリカとの戦争がはじまった 8 戦争が拡大する 9 アジア・太平洋の諸民族にかかわった 10 生活も戦争に染まった 11 戦争が終わった	第二次世界大戦の経緯・特徴について、世界恐慌の中の日本について、恐慌下における軍部の台頭について、太平洋戦争の背景について、大東亜共栄圏について、終戦までの流れについて理解する。

3 学 期	1	第3章 現代の日本と世界 第1節 日本の再出発 1 占領軍がやってきた 2 日本が生まれかわる 3 新しい国のしくみ 4 飢えとのたたかい 5 飢えのなかでも解放感があつた 6 民主化から経済復興へ 7 復興への転機到来 8 複雑な環境のなかでの独立	第二次世界大戦後の日本と世界の動きについて、占領下での政策と民主化への流れについて、日本国憲法について、冷戦を背景とした占領政策の転換について、朝鮮戦争とその影響について、独立と安保条約について理解する。
	2	第2節 独立後の政治と経済の発展 1 平和への願いが叫ばれた 2 保守と革新の正面衝突 3 奇跡の経済成長がはじまった 4 奇跡の経済成長の影 5 あらたな戦争にまきこまれた 6 豊かさの中流意識	復興から高度経済成長期の日本の動きについて、独立後の日本の動きについて、安保闘争について、高度経済成長の流れについて理解する。
	3	第3節 現代の日本と世界 1 2つのショック 2 経済大国が誕生した 3 消費はファッションになった 4 バブルはこうしてふくらんだ 5 大きな歴史の転換をむかえた 6 政局と経済が混迷する 7 これからの日本について考えよう 8 時代の転換点に立って	現代の日本と諸外国との関係について、また経済大国となる背景について理解し、平和で民主的な世の中とは何かを各自が考え、日本人として何ができるのかについて自分の意見を述べる。

令和4年度 熊本県立阿蘇中央高等学校 シラバス（3年生）

教科	地歴・公民	科目	【総合選択】地理	単位数	2
学年	3	学科	A, G	担当者	後藤 三緑
教科書	高校生の地理A（帝国書院）		副教材	新詳高等地図（帝国書院）	

1 学習の目標・・・この科目を学んでどんな力が身につくのか

- 1 地理的な課題を地域の特色・歴史的な背景・日常生活と関連させながら考える力
- 2 地理的な見方や考え方
- 3 国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質

2 学習のポイント

- 中学校で学習した「地理分野」をさらに少しだけ専門的に学んでいきます。そのため、実際に作業をしてみたり、図書室やインターネットを使って自分で調べたことを大事にしたいと考えています。
- 地理を通して、現代の社会問題や歴史問題を考えていきます。

3 評価の基準および観点別割合

評価の観点	知識・技能（技術）	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	備考
1 定期考査	○	○	○	1 期末、2 課題、中間、期末、3 課題、学年末の計6回です。
2 提出物	○	○	○	ファイル提出、長期休業課題、文化祭の発表等。
3 授業態度	○	○	○	授業中の発表や話しあい活動を評価します。
4 出席状況			○	休まずに出席し、授業参加していることを評価します。
5				
6 資格・検定				
観点別割合	40 %	30 %	30 %	

4 担当者からのメッセージ

グローバル化が進み、現代を生きる私たちは「外国だから関係ない」では済まない状況になっています。社会や身近な出来事が地理と関係していることに気付いてもらえるような授業をします。ニュース・旅行・料理・文化・宗教などなど、少しでも「面白い」を見つけてもらえればうれしいです。

5 学習計画

学期	月	学習单元	学習の到達目標（【 】は主な評価の観点）
1 学期	4	・1章 旅からとらえる現代社会 ・海外旅行を身近にしたもの-情報通信・交通 ・旅を身近にする地図-地球儀と地図 ・緯度や経度が違うと何が違う？	・インターネットの普及による高度情報化社会の成立は、産業や日常生活にどのような影響を与えているか考察できる。【思判表】 ・地球を地図におきかえるさまざまな図法について考察でき、正積図、正距方位図、正角図の特徴と利用方法を理解する。【知技】 【思判表】 ・緯度や経度の違いで生じる季節や時差の違いについて理解できる【知技】
	5	・ほかの国に入るといことは-国家 ・日本の領域と領土問題 ・国どうしのまとまり-国家間の結びつき ・モノの産地はいろいろ-貿易	・国家の領土・領空・領海の範囲について理解し、現在でも国境線が定まっていない地域を調べ、その理由や国境線をめぐる諸問題について考察できる。【知技】【思判表】 ・世界の結びつきや結びつきによって生まれる問題について理解し、現在の問題について考察する。【知技】【思判表】 ・貿易の特徴と課題について、自由貿易の進展や輸出品目と貿易収支、日本の貿易品の変化などをふまえて考察できる。【思判表】
	6	・2章 世界の自然環境と文化 ・1節 地形 ・1 躍動する大地 ・2 川が作る地形	・地形を形成する内的営力と外的営力について、その原動力と作用を理解する。【知技】【思判表】 ・河川がつくる山地・平野のさまざまな地形について、侵食・運搬・堆積などの作用をふまえて理解する。【知技】【思判表】
	7	・3 海岸でみられる地形 ・4 氷河地形・カルスト地形	・海岸でみられる地形の成り立ちと種類、特徴について、人々の生活とのかかわりをふまえて理解する。【知技】【思判表】 ・氷河地形・カルスト地形・乾燥地形の成り立ちと種類、特徴について、人々の生活とのかかわりをふまえて理解する。【知技】【思判表】
2 学期	8	・2節 気候 ・地域による気候の違いと人々の生活 ・熱帯の気候と人々の生活	・気候の特徴と人間生活とのかかわりについて考察できる。【思判表】 ・ケッペンの気候区分と分布の特徴を理解する。【知技】 ・熱帯における各気候区の分布や特徴について理解し、熱帯地域に暮らす人々の生活について理解する。【知技】【思判表】
	9	・乾燥帯の気候と人々の生活 ・温帯の気候と人々の生活 ・亜寒帯・寒帯の気候と人々の生活	・乾燥帯における各気候区の分布や特徴について理解し、乾燥帯に暮らす人々の生活について理解する。【知技】【思判表】 ・温帯における各気候区の分布や特徴について理解し、温帯に暮らす人々の生活について理解する。【知技】【思判表】 ・亜寒帯・寒帯における各気候区の分布や特徴について理解し、亜寒帯・寒帯に暮らす人々の生活について理解する。【知技】【思判表】
	10	・3節 文化 ・宗教・言語と人々の生活 ・生活・文化のグローバル化	・世界の三大宗教と主要な民族宗教の特徴と分布について理解するとともに、宗教と人々の生活とのかかわりについて考察できる。【知技】【思判表】
	11	・3章 世界の諸地域の生活・文化 ・1節 中国 ・中国の自然	・中国の自然環境について、内陸部と沿海部、南部と北部の対比をふまえながら、その地域性と特徴について考察できる。【知技】【思判表】
	12	・中国の食文化と農業の変化 ・経済の発展と生活の変化 ・中国のさまざまな課題	・中国における農業と食文化の地域的特徴を、自然環境をふまえて理解する。【思判表】 ・中国の農業と農民生活の変化について、経済や農業における政策の転換をふまえて理解する。【知技】 ・高度経済成長の下で、現在の中国が抱える農業や食料問題について考察できる。【思判表】

3 学 期	1	・2節 韓国 ・韓国の自然 ・韓国の文化と歴史 ・韓国の生活と産業の変化	・朝鮮半島の自然環境について,日本との類似点と相違点に注目して考察できる。【思判表】 ・日本と朝鮮半島の交流と歴史について理解するとともに,韓国と北朝鮮との関係について考察する。【思判表】【主】 ・経済成長に伴う都市への人口集中や生活の変化について理解するとともに,都市と農村をめぐる経済格差や課題について考察できる。【思判表】
	2		
	3		

令和4年度 熊本県立阿蘇中央高等学校 シラバス（2・3年生）

教科	数学	科目	数学Ⅱ	単位数	数学Ⅱ（2単位）
学年	3	学科	A, G	担当者	
教科書	新 高校の数学Ⅱ（数研出版）		副教材		

1 学習の目標…この科目を学んでどんな力が身につくのか

いろいろな式、図形と方程式、指数関数・対数関数、三角関数及び微分・積分の考えについて理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察し表現する能力を養うとともに、それらを活用する態度を育てる。

2 学習のポイント

予習 → 授業 → 復習 → 予習 → 授業 → 復習 → …… のサイクルに 質問 をしながら、毎日「わかる」を積み重ねるよう努力する。

3 評価の基準および観点別割合

評価の観点	知識・技能（技術）	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	備考
1 定期考査	○	○		
2 提出物	○		○	
3 授業態度	○	○	○	
4				
5				
6 資格・検定				
観点別割合	50 %	20 %	30 %	

4 担当者からのメッセージ

- ・事前の予習が授業の理解を深めることになるので、必ず予習をして授業に臨むこと。
- ・授業中はノートをとることよりも説明をしっかりと聞くことを重要視すること。
- ・復習は短時間でもいいので、必ず授業があったその日のうちに1回すること。
- ・単に定理や公式を暗記するようなことはせず、それらがどのような過程で導き出されたのかを理解すること。
- ・わからないところは遠慮することなく積極的に質問すること。

5 学習計画

学期	月	学習単元	学習の到達目標
1 学期	4	第4章第1節 1 指数の拡張(1) 2 累乗根 3 指数の拡張(2)	指数法則を用いて計算ができる。 累乗根の定義を理解し、累乗根の計算ができる。 指数が有理数の場合の累乗の定義を理解し、累乗の計算や、指数法則を利用した計算をすることができる。
	5	4 指数関数のグラフ	指数関数のグラフの概形、特徴を理解している。
	6	第2節 1 対数 2 対数の性質 3 対数関数のグラフ	指数と対数とを相互に書き換えることができる。 対数の性質に基づいて、種々の対数の値の計算ができる。 対数関数のグラフの概形、特徴を理解している。
	7	4 常用対数 第5章第1節 1 微分係数 2 導関数	常用対数の定義を理解し、常用対数表を用いて対数の値を求めることができる。 微分係数の定義を理解し、それを求めることができる。 導関数の性質を利用して、種々の導関数の計算ができる。
	8	3 接線	公式を利用して、接線の方程式を求めることができる。
2 学期	9	4 関数の増減 5 関数の極大値、極小値	導関数を利用して、関数の増減を調べることができる。 導関数を利用して、関数の極値を求めたり、グラフをかいたりすることができる。
	10	6 関数の最大値、最小値	導関数を利用して、関数の最大値・最小値を求めることができる。
	11	第2節 1 不定積分 2 定積分	不定積分の定義や性質を理解し、不定積分を計算することができる。 定積分の定義や性質を理解し、定積分を計算することができる。
	12	3 定積分と面積 1年間の復習	定積分を利用して、面積を求めることができる。
3 学期	1	1年間の復習	
	2	家庭学習	
	3		

令和4年度 阿蘇中央高校阿蘇清峰校舎 シラバス

教科名	数学	科目	数学A	単位数	2
学 年	3	学 科	A, G	担当者	寺田・三原
教科書	新 高校の数学A(数研出版)		副教材	ステップノート 数学A(実教出版)	

1 学習の目標…この教科を学んでどんな力が身につくのか

- 筋道を立てて物事を考える力を鍛えることができます。
- 数学の良さが分かり、数学を活用しようとする態度や粘り強く考えて問題を解決しようとする態度が身につきます。
- 就職試験など、受験に必要な知識と計算力が身につきます。

2 学習のポイント

- 『数学』を『数楽』と捉え、楽しさや良さを体験していきましょう。
- 分からない部分は決してそのままにせず、必ず質問して解決していきましょう。分かると非常に楽しい教科です。

3 評価の基準および観点別割合

評価の観点	知識・技能	思考力・判断力・表現力	学びに向かう力、人間性	備考
1 定期考査	○	○		学習到達度合
2 提出物	○		○	提出習慣割合
3 授業態度	○	○	○	授業状況観察
4 出席状況			○	授業参加意欲
5				
6				
観点別割合	40 %	30 %	30 %	

4 担当者からのメッセージ

- 教科書、ノート、ファイル、問題集を準備して真剣に取り組み、理解を深めましょう。
- 課題や提出物をきちんと出しましょう。積極的、継続的に学習しましょう。
- 正しい姿勢で椅子に座り、授業内容に関する質問を積極的に行い、満足感のある授業にしましょう。

5 学習計画

学期	月	学習単元	学習の到達目標
1 学期	4	○事象と確率 ○確率の計算	○確率の意味や基本的性質を理解する。 ○確率の求め方を理解し、正しい計算ができるようになる。
	5	○確率の計算 ○独立な試行と確率 ○条件付き確率	○確率の求め方を理解し、正しい計算ができるようになる。 ○独立の意味を理解し、反復試行の確率を計算できるようになる。 ○条件付き確率の求め方を理解し、正しい計算ができるようになる。
	6	○確率の確認問題演習 ○就職試験対策・基礎学力向上対策	○確率の求め方を理解し、正しい計算ができるようになる。 ○基礎的な計算の手順や法則を理解する。 ○文章を正しく読み取り、立式ができるようになる。
	7	○就職試験対策・基礎学力向上対策	○基礎的な計算の手順や法則を理解する。 ○文章を正しく読み取り、立式ができるようになる。
2 学期	8	○平面図形の基本	○対頂角、同位角、錯角など、図形の基本的な性質を理解する。 ○三角形の相似と合同について、概念を理解する。
	9	○角の二等分線と線分の比 ○三角形の外心、内心、重心 ○円周角の定理	○三角形の内角の二等分線と線分の比を用いて、線分の長さを求めることができる。 ○内心・外心・重心について理解し、辺の長さや角の大きさを求めることができる。 ○円周角と中心角について理解し、角の大きさを求めることができる。
	10	○円に内接する四角形 ○円の接線 ○方べきの定理	○円に内接する四角形の性質を用いて、角の大きさを求めることができる。 ○接線と弦の作る角について理解し、角の大きさを求めることができる。 ○方べきの定理を理解し、辺の長さを求めることができる。
	11	○図形の性質 確認問題演習 ○約数と倍数 ○ユークリッドの互除法	○図形の性質に関する基本問題が解けるようになる。 ○約数、倍数、素数、素因数分解など、整数に関する基本事項を理解する。 ○2つの自然数の最大公約数と最小公倍数を求めることができる。 ○互除法を用いて、2つの自然数の最大公約数を求めることができる。
	12	○方程式を満たす整数 ○2進法 ○分数と小数	○1次不定方程式を解くことができるようになる。 ○10進法と2進法を理解し、変換ができるようになる。 ○有理数、有限小数、循環小数の意味を理解する。 ○有限小数や循環小数を分数に変換できるようになる。
		○整数の性質 確認問題演習	○整数の性質に関する基本問題が解けるようになる。
3 学期	1		
	2		
	3		

令和4年度 熊本県立阿蘇中央高等学校 シラバス（2・3年生）

教科	理科	科目	【総合選択】化学基礎	単位数	2
学年	3	学科	A, G	担当者	松本
教科書	東京書籍「改訂 新編化学基礎」		副教材	なし	

1 学習の目標…この科目を学んでどんな力が身につくのか

- 身の回りの物質の構成・イオンとその結合法など、この世界の科学的法則がわかります
- 実験を通して、上記の知識を自分の目で確かめたり、ものごとを順序立てて考える力を養います
- 身近な事象・現象（例：花火が様々な色になる理由）への興味・関心を高めることができます

2 学習のポイント

- 写真や動画を扱い「これは何？」と尋ねます。どんな答えも否定しません。意見や考えを教えてください
- 火を扱った実験や解剖をします。「聞くときは聞く」「取り組むときは取り組む」とメリハリをつけてください

3 評価の基準および観点別割合

評価の観点	知識・技能	思考力・判断力・表現力	学びに向かう力、人間性	備考
1 定期考査	○	○		課題考査・中間考査・期末考査
2 提出物	○		○	授業・実験ワークシートの記入
3 授業態度		○	○	自分の意見を伝えられたか
4 実験	○	○	○	考察を深めながら実験できたか
5 資格・検定	○	○	○	理科関連検定（生物分類技能検定など）
観点別割合	50 %	30 %	20 %	

4 担当者からのメッセージ

物質の構成や化学反応など、科人より深く学んでいきます。目に見えない構造や変化もありますが、写真や動画を用いてわかりやすく説明したいと思います。実験も多く実施して、経験とともに理解を深めたいと思います。

5 学習計画

学期	月	学習単元	学習の到達目標
1 学期	4	1編 物質の構成 ・1章 物質の成分と構成元素 1 物質の成分	・純物質と混合物のちがいや、様々な分類の方法について理解できる
	5	2 物質の構成元素 3 物質の三態	・単体と化合物・単体と元素のちがいや、同素体について理解できる ・固体・液体・気体の関係と、熱運動について理解できる
	6	・2章 原子の構造と元素の周期表 1 原子の構造	・物質を構成する最小単位の粒子が原子であることを理解できる
	7	2 電子配置と周期表	・電子殻や価電子がわかり、元素ごとに電子配置を書くことができる
2 学期	8		
	9	・3章 化学結合 1 イオンとイオン結合	・イオンが電荷を帯びた粒子であることとその性質を理解できる
		2 分子と共有結合 3 金属と金属結合	・共有結合の性質を理解できる ・金属結合、化学結合のちがいと性質を理解できる
	10	4 化学結合と物質の分類	・上記に基づいて物質を分類することができる
	11	2編 物質の変化 ・1章 物質と化学反応式 1 原子量・分子量・式量	・原子量と分子量と式量のちがいがわかり、元素や化合物を原子量で表すことができる
3 学期	12	4 化学反応式とその量的関係 ・2章 酸と塩基 1 酸と塩基	・化学変化を化学反応式で表すことができる ・いくつかの定義に従って酸・塩基を分類できる
	1	・3章 生態系とその保全 1 酸化と還元 2 酸化剤と還元剤	・酸化・還元には酸素の授受が生じることが理解できる ・上記に基づいて酸化剤と還元剤を見分けることができる
	2		
	3		

令和4年度 阿蘇中央高校阿蘇清峰校舎 シラバス

教科名	保健体育	科 目	体育	単位数	3
学 年	3	学 科	A, G, W	担当者	有働 貴行、木村 恭兵、本田 裕人
教科書	「最新高等保健体育」		副教材	なし	

1 学習の目標…この教科を学んでどんな力が身につくのか

- (1) 運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにする。
- (2) 運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付ける。
- (3) 生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断する。
- (4) 自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。
- (5) 公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てる。
- (6) 健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。

2 学習のポイント

- 体育では、体を動かすことが一番。まず授業に出席することを大切にしてください。
- 授業では、安心・安全に活動することが大切です。活動する道具の準備や片付けを率先して行ってください。

3 評価の基準および観点別割合

評価の観点	知識・技能	思考力・判断力・表現力	学びに向かう力、人間性	備考
1 定期考査	○	○		
2 提出物	○		○	
3 授業態度	○	○	○	
4 出席状況			○	
5				
6 資格・検定				
観点別割合	50 %	20 %	30 %	

4 担当者からのメッセージ

- 体育は、実技を通しての総合評価です。運動することだけでなく、実施する種目道具の準備や片付け、仲間と切磋琢磨して運動する姿勢や態度等を総合的に判断して算出します。学年末の成績は、各学期の平均から算出します。体育の授業にまず出席をすることと安心・安全に運動に取り組めるよう、日頃の学校生活を頑張ってください。

5 学習計画

学期	月	学習単元		学習の到達目標
		座学	実技	
1 学期	4		体育大会への取り組み 体づくり運動	基本的な体の動かし方を身に付けることができる。
	5		・体ほぐしの運動 ・体力を高める運動 体づくり運動 スポーツテスト	仲間とペアや集団を作り、楽しく体を動かすことができる。 集団行動の隊列づくりを行うことができる。 自己の今の現状の体力を知り、自己に合った体力向上の方法を理解することができる。
	6		選択授業 水泳	自分に合った球技を選択し、勝敗を競う楽しさや喜びを深く味わおうとする。 自己に適した泳法を身に付け、その効率を高めて泳ぐことができる。
	7		水泳	自分に合った球技を選択し、勝敗を競う楽しさや喜びを深く味わおうとする。 自己に適した泳法を身に付け、その効率を高めて泳ぐことができる。
	8			
2 学期	9		選択授業(球技)	技術などの名称や行い方、課題解決の方法などを理解し、 チームや自己の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫できるようにする
	10		体づくり運動	体を動かす楽しさや心地よさを味わい、 健康の保持増進や体力の向上を図ることができるようにする
	11	体育理論 1 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展 2 運動やスポーツの効果的な学習の仕方 3 豊かなスポーツライフの設計の仕方		オリンピックがどのように変化してきたのかを説明できる。 技能がどのようなステップを経て上達するかを説明できる。 自分に合ったスポーツライフを設計することができる。
	12		陸上競技(長距離走)	陸上競技の学習に主体的に取り組み、ルールやマナーを大切にしようすることができる
3 学期	1		陸上競技(長距離走)	記録の向上や競争の楽しさ喜びを深く味わうことができる。
	2			
	3			

令和4年度 熊本県立阿蘇中央高等学校 シラバス（2・3年生）

教科	英語	科目	コ英Ⅱ	単位数	2
学年	3	学科	A, G	担当者	
教科書	VISTA English CommunicationⅡ		副教材		

1 学習の目標…この科目を学んでどんな力が身につくのか

英語によって情報や考えなどを的確に理解したり適切に表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る能力が身につくことを目指します。

2 学習のポイント

○電子黒板、タブレットなどの視覚的な教材を使って、理解しやすい授業を目指します。

○英語を読んだり書いたりして得た知識を実際に使ったコミュニケーション活動を取り入れて、「読む」「書く」「話す」「聞く」の4つの技能をバランスよく身につけることを目指します。

3 評価の基準および観点別割合

評価の観点	知識・技能（技術）	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	備考
1 定期考査	○	○		中間考査、期末考査、課題考査
2 提出物	○		○	授業プリント、週末課題、長期休業中課題、試験対策プリント、朝自習
3 授業態度			○	英語を使って積極的にコミュニケーションをとろうとしているか
4 実技	○	○	○	スピーキングテスト、プレゼンテーション（発表）
5 小テスト	○	○		週末課題を範囲にして実施
6 資格・検定				
観点別割合	50 %	20 %	30 %	

4 担当者からのメッセージ

授業担当者はできるだけ英語で授業を行います。生徒の皆さんも間違いや失敗を恐れず、できるだけ英語でコミュニケーションすることを心掛けてください。

5 学習計画

学期	月	学習単元	学習の到達目標
1 学期	4	<教科書> レッスン8「Shodo, Old and New」	○部分否定の表現や助動詞+受け身の形を使った表現を含む英文を正確に書くことができる。 ○中国を起源とし日本の伝統文化となった書道の歴史と、近年行われるようになった書道パフォーマンスの魅力について理解する。
	5	<教科書> レッスン8「Shodo, Old and New」	○部分否定の表現や助動詞+受け身の形を使った表現を使ってコミュニケーションをとることができる。
	6	<教科書> レッスン9「Water World」	○関係代名詞のwho、which を使って、名詞を補足説明する表現を含む英文を正確に書くことができる。 ○水族館の歴史や、現代の水族館に導入されている最新の科学技術などについて理解する。
	7	<教科書> レッスン9「Water World」 <教科書> レッスン10「A Long Friendship」	○現在完了形の受け身を使って「これまでずっと・・・されている」という意味を含んだ英文を正確に書くことができる。 ○過去完了形を使って、過去のある時点までの「完了」「結果」「経験」「継続」などを表す英文を正確に書くことができる。
2 学期	8		
	9	<教科書> レッスン9「Water World」	○教科書の内容についての英語の質問を聞いて(読んで)、それに対する適切な答えを英語で言う(書く)ことができる。
	10	<教科書> レッスン10「A Long Friendship」	○教科書の内容についての英語の質問を聞いて(読んで)、それに対する適切な答えを英語で言う(書く)ことができる。 ○強調構文を使って、文の一部を強調する表現を含む英文を正確に書くことができる。
		<教科書> レッスン10「A Long Friendship」	○日本とトルコの友好関係の背後にある歴史と、国際協調や共生のためにどんな心がけが必要かを考えることができる。
	11	<教科書> ENJOY READING! 「I'm Afraid of Manju!	○日本の古典落語『まんじゅうこわい』を英語で鑑賞し、おもしろさを理解する。
	12	<教科書> ENJOY READING! 「I'm Afraid of Manju!	○登場人物の発言に隠された意図を正確に理解し、話の流れのポイントを抑えながら読み進めることができる。
3 学期	1	<教科書> ENJOY READING! 「I'm Afraid of Manju!	○教科書の内容についての英語の質問を聞いて(読んで)、それに対する適切な答えを英語で言う(書く)ことができる。
	2		
	3		

令和4年度 阿蘇中央高校阿蘇清峰校舎 シラバス

教科名	農業	科目	課題研究	単位数	4
学 年	3	学 科	G	担当者	早瀬 瀬口 尾形 伊藤 田上 平澤
教科書			副教材		

1 学習の目標…この教科を学んでどんな力が身につくのか

- これまで学んできた専門科目を活用して地域に貢献する。
- 課題の解決に向けて、みんなで意見を出し合い、課題解決のために努力する。

2 学習のポイント

- 何が課題で、そのためにどうすることが必要なのか考えながら実習します。
- 課題解決のために、アンテナを広げ、新聞等を活用し、各専門科目に立ち返って学びます。

3 評価の基準および観点別割合

評価の観点	知識・技能	思考力・判断力・表現力	学びに向かう力、人間性	備考
1 話し合い	○	○	○	自分の意見を述べ、相手の意見を聞く
2 提出物		○		プロジェクト日誌
3 授業態度		○	○	服装、積極的に実習する
4 作品制作	○	○	○	木工作品、図面
5 卒業論文	○	○	○	3年間で振り返った内容か
観点別割合	40 %	30 %	30 %	

4 担当者からのメッセージ

- 課題は何なのかを考え、その解決のために何ができるのか、考えるようにしましょう。失敗を恐れず、思い切って取り組んでください。調べる時は、できるだけ教科書に立ち返りましょう。最後のまとめは、後輩に学科の伝統をつなげるために真剣に取り組んでください。

5 学習計画

学期	月	学習単元		学習の到達目標
		座学	実習	
1 学期	4	班分け		
	5	(A) 木材加工班 (B) 草原再生班 (C) 環境類型班	各班ごとに課題を見つけ、課題解決のために何ができるか考える。(インターネット、本、新聞)	・木材加工で地域貢献をするためにできることを考える(肥後の水とみどりの愛護基金の取り組み) (A) ・これまでの草原再生のデータを確認する。(B) ・基本的な測量技術の確認 (C)
	6		年次大会に向けてプロジェクト活動、日誌まとめ	
	7			
	8			
2 学期	9			
	10	研究についてここまでを振り返る。(A B C)	肥後の水とみどりの愛護基金に間伐材を活用したベンチを寄贈(A)	・研究を通して、失敗したことなどあったら何かあったのかについて、みんなで話し合える。
	11	定期的な話し合い	阿蘇市内の牧野に行き、植生調査を実施(B)	・外部機関と連携して動く際は、学校の代表として意識を持って行動できる。
	12	プロジェクト日誌作成	阿蘇地域の農地を測量し、CADを使って図面作成(C)	・具体的に考えるうえで、専門科目の教科書に立ち、内容を理解する。
3 学期	1	卒業論文について 課題研究発表会について	インターネット、本、新聞、教科書等を活用して、自分たちが取り組んできた中身についてまとめる。	・研究をとおして、何を学び、何を身につけたのかを卒業論文に表現することができる。 ・課題研究発表会において、後輩に明確なメッセージを持って伝えることができる。
	2			
	3			

令和4年度 阿蘇中央高校阿蘇清峰校舎 シラバス

教科名	農業	科目	総合実習	単位数	2
学年	3	学科	G	担当者	尾形 後藤 田上 平澤
教科書	なし		副教材	配付プリント	

1 学習の目標…この教科を学んでどんな力が身につくのか

- クラスメイトと協力して実習に取り組むことができる。
- 事象の原理原則を理解することができる。
- 自分の得意不得意を理解し、どのように行動すべきか考えられる。

2 学習のポイント

- プライドと責任を持って製品作りに取り組もう！
- 他者と協力をしよう！班を編制し、毎回、リーダーを指定します。自分だけでなく、周囲のことも考えて実習に取り組んでください。お互いに思いやりを持って、周囲との協働を常に意識してください。

3 評価の基準および観点別割合

評価の観点	知識・技能	思考力・判断力・表現力	学びに向かう力、人間性	備考
1 定期考査	○	○	○	期末考査・学年末考査
2 提出物	○	○	○	ファイル・演習林実習の感想用紙等
3 授業態度	○	○	○	教材の準備(忘れ物等)等
4 協働(班)	○	○	○	班ごとの実習における評価シート
5 当番実習	○	○	○	当番実習を実施
観点別割合	35 %	40 %	25 %	

4 担当者からのメッセージ

○考えてするが「実習」。ただの「作業」にならないように、一人ひとりがなぜそうするのかを考えて、みんなと協力しながら取り組んでください。

5 学習計画

学期	月	学習単元		学習の到達目標
		座学	実習	
1 学期	4	木工製品について	木工室の機械操作 刈払い機のメンテナンス・使用	木工製品作りの基礎を理解できる 実習内容を理解し、他者と協力して取り組むことができる
	5	農業鑑定競技(共通)の学習		農業鑑定競技(共通)の学習に取り組むことができる
	6	道具の使い方	木工製品作り①	適切な道具を使って木工製品作りに取り組むことができる
	7	トンボの構成	露地野菜(夏野菜)の管理等 トンボ作り①	トマト・ナス・ピーマン等の夏野菜の管理ができる 適切な道具を使って班員と協力してトンボ作りに取り組むことができる
		※演習林実習の参加※		
2 学期	8		トンボ作り②	適切な道具を使って班員と協力してトンボ作りに取り組むことができる(ノルマあり)
	9		露地野菜の管理等	実習内容を理解し、他者と協力して取り組むことができる
	10	秋野菜の特徴	露地野菜(秋野菜)の管理等	秋野菜の特徴について理解することができる。 ハクサイ・ダイコン等の秋野菜の管理ができる
	11		露地野菜(越冬野菜)の管理等	タマネギ・ニンニク等の越冬野菜の管理ができる
	12			
3 学期	1	学習のまとめ		学習のまとめをし、卒論を提出できる。
	2			
	3			

令和4年度 阿蘇中央高校阿蘇清峰校舎 シラバス

教科名	農業	科 目	農業情報処理	単位数	2
学 年	3	学 科	G	担当者	杉村 後藤
教科書	実教出版「農業情報処理」		副教材		

1 学習の目標…この教科を学んでどんな力が身につくのか

- ・エクセルの関数機能
- ・パソコンを使ったプレゼンテーション技術
- ・タイピングのスピードをあげる

2 学習のポイント

- ・課題研究でパワーポイントを使います。いろいろな技術ができるように習得しましょう。

3 評価の基準および観点別割合

評価の観点	知識・技能	思考力・判断力 ・表現力	学びに向かう力、 人間性	備考
1 定期考査	○	○	○	中間、期末、学年末考査
2 提出物	○		○	授業中の課題、ファイル
3 授業態度	○	○	○	授業の準備
4				
5				
6 資格・検定	○	○	○	全商ビジネス文書実務検定
観点別割合	50 %	20 %	30 %	

4 担当者からのメッセージ

高度情報化社会に対応できる力を身に着けるための教科です。正しい知識と正しい活用法をしっかりと身につけましょう。

5 学習計画

学期	月	学習単元		学習の到達目標
		座学	実習	
1 学期	4	○情報システムの概要 ・私たちの生活と情報システム	○2級の速度を10分でタイピング	・身の回りにある様々な情報システムの種類を理解する。 (コンビニの配送システム、通販など)
	5	・農業における情報システム ・リモートセンシング	○2級の速度を10分でタイピング	・農業と情報のつながりについて
	6	・地理情報システム	○2級の速度を10分でタイピング	・身近な地理情報システムとの関わりを理解する
	7	・エクセルで基本的な関数	○2級の速度を10分でタイピング	・SUM,IF,AVERAGE基本的な関数ができるようになる。
2 学期	8	・エクセルで基本的な関数	○2級の速度を10分でタイピング ○データから表やグラフを作る。	グラフや表が作れるようになる。
	9	・エクセルで基本的な関数	○2級の速度を10分でタイピング ○VLOOKUPを使って表の作成	・VLOOKUPなどの関数ができるようになる。
	10	・パワーポイント	○2級の速度を10分でタイピング ○パワーポイントの操作をする	・パワーポイントの基本的な操作ができるようになる。
	11	・パワーポイント	○2級の速度を10分でタイピング ○パワーポイントの操作をする	・パワーポイントで3年間の振り返りをまとめる。
	12	・CAD	OCADで図面を書いてみよう	・CADについて基本的なことを理解し、操作ができるようになる。
3 学期	1	・CAD	OCADで図面を書いてみよう	・CADで校内平面図を描いてみよう。
	2			
	3			

令和4年度 阿蘇中央高校阿蘇清峰校舎 シラバス

教科名	農業	科 目	森林科学	単位数	2
学 年	3	学 科	G	担当者	杉村 拓哉
教科書	実教出版「森林科学」		副教材		

1 学習の目標…この教科を学んでどんな力が身につくのか

教科書の内容に沿って授業を進めます。授業のポイントとなる内容を中心に板書しますので、必ず板書事項をノートに記入するようにして下さい。また、必要に応じて、実習を実施する予定ですので、興味・関心を持ってしっかり取り組むようにして下さい。

2 学習のポイント

教科書の内容に沿って授業を進めます。授業のポイントとなる内容を中心に板書しますので、必ず板書事項をノートに記入するようにして下さい。また、必要に応じて教科内実習や観察記録も実施する予定ですので、興味・関心を持ってしっかり取り組むようにして下さい。

3 評価の基準および観点別割合

評価の観点	知識・技能	思考力・判断力・表現力	学びに向かう力、人間性	備考
1 定期考査	○	○		中間考査・期末考査
2 提出物	○		○	ノートの整理
3 授業態度	○	○	○	落ち着いた態度で臨めたか
4 農業鑑定競技	○		○	内容をまとめ、理解できるか
5 プロジェクト学習	○	○	○	プロジェクト学習について
観点別割合	40 %	30 %	30 %	

4 担当者からのメッセージ

自分たちの仕事がいかに人々や自然環境のために役立っているのかを知ってもらい、誇りを持って、卒業してほしいと思います。

5 学習計画

学期	月	学習單元		学習の到達目標
		座学	実習	
1 学期	4	○治山治水 ・治山の重要性	○校内にある見本林を活用し、 樹種を識別	森林の持つ力により我々の暮らす環境がどのように関わっているのか知り、治山の歴史が今の生活にどのように関わっているのか理解しましょう
	5	・山地の荒廃	○校内にある見本林を活用し、 樹種を識別	山地の荒廃がどのようにして起こるのか知り、荒廃につながる浸食が起こるメカニズムを理解しましょう。
	6	・水の循環 ・溪流工事	○校内にある見本林を活用し、 樹種を識別	大気中から大地に至るまで、また樹木を介してからの水の循環に通じて理解しましょう。 溪流の荒廃、またはその防止に必要な工事を理解しましょう。
	7	・山腹工事 ・地すべり防止工事	○校内にある見本林を活用し、 樹種を識別 ○演習林での実習	山腹の浸食や荒廃、またはその防止に必要な工事を理解しましょう。 地すべり防止に必要な工事の中身を理解しましょう。
	8			
2 学期	9	○林道と作業道 ・役割	○校内にある見本林を活用し、 樹種を識別	林道や作業道といったおのおのの役割や、我々の生活にどのように関わっているのか理解しましょう。
	10	・林道計画と設計	○校内にある見本林を活用し、 樹種を識別	林道を設営する上で必要な調査のポイントを知り、林道の構造を理解しましょう
	11	・林道の施工と保守管理	○校内にある見本林を活用し、 樹種を識別	林道の作り方を知り、機能を維持するために必要な管理を理解しましょう。
	12	○林木の伐採 ・伐採をめぐる問題 ・伐採計画	○校内にある見本林を活用し、 樹種を識別	世界と我が国における森林の破壊と保護の歴史を理解しましょう。
3 学期	1	・作業計画	○校内にある見本林を活用し、 樹種を識別	森林の機能を損なわず、経済的であり、また作業を安全に行えるようにするための取り組みを理解しましょう。
	2			
	3			

令和4年度 阿蘇中央高校阿蘇清峰校舎 シラバス

教科名	農業	科目	森林経営	単位数	2
学年	3	学科	G	担当者	杉村 拓哉
教科書	実教出版「森林経営」		副教材		

1 学習の目標…この教科を学んでどんな力が身につくのか

- 森林経営の計画、管理について考え、木材の流通について理解する。
- 小柏演習林の経営について考え、興味関心を持つことができる。(全林毎木調査 選木)

2 学習のポイント

- 森林経営の計画と管理について具体的に考えることができる。
- 小柏演習林の丸太を評価して、一定の利益が出るよう計画を立てることができる。

3 評価の基準および観点別割合

評価の観点	知識・技能	思考力・判断力・表現力	学びに向かう力、人間性	備考
1 定期考査	○	○		中間考査・期末考査
2 提出物	○		○	ワークシートの記入
3 授業態度	○	○	○	落ち着いた態度で臨めたか
4 農業鑑定競技	○		○	内容をまとめ、理解できるか
5 プロジェクト学習	○	○	○	プロジェクト学習について
観点別割合	40 %	30 %	30 %	

4 担当者からのメッセージ

林業科目の中でも一番難しい分野です。昨年学んできた計算方法などを使って、小柏演習林の経営を行っていきましょう。計算機を丁寧に使えるようになりましょう。

5 学習計画

学期	月	学習単元	学習の到達目標
1 学期	4	第4章 森林経営の計画と管理 1. 森林経営の目標と組織	・森林経営に関する計画の特徴について理解できる ・日本の有名林業地について理解できる。
	5	2. 森林施業 樹齢による区分 樹種・更新法による区分	・森林施業の基礎について理解できる
	6	利用目的・機能による区分	・森林の重視すべき機能とその目的を理解する
	7	所有や法制度による区分	・森林認証制度について考えることができる
2 学期	8		
	9	第4章 森林経営の計画と管理 3. 森林の利用 4. 森林経営情報の活用	・公益的機能(水源かん養、国土保全・環境維持機能、生物多様性、炭素固定機能)について考えることができる。 ・地図情報、森林簿などについて理解できる。
	10	第5章 木材の流通 1. 国民経済と木材商業 2. 木材の流通と市場	・国産材利用の変遷について考えることができる。 ・国産材と外材の流通について大まかに理解できる。
	11	3. 木材貿易	・森林認証制度について考えることができる。
	12	第6章 森林経営と森林政策 1. 我が国の森林政策 2. 林業金融と森林保険	・江戸時代、明治期、大正期、昭和期の林業施策について理解できる。 ・林業金融と森林保険の意義について考えることができる。
3 学期	1	3. 森林関係法規	・森林林業基本法、森林法、森林組合法について理解できる。
	2		
	3		

令和4年度 阿蘇中央高校阿蘇清峰校舎 シラバス

教科名	農業	科目	林産物利用	単位数	2
学年	3	学科	G	担当者	早瀬、平澤
教科書	林産物利用		副教材		

1 学習の目標…この教科を学んでどんな力が身につくのか

- 木材の構造、性質、用途について理解し、興味関心を持つ。
- 木材の製材、カンナがけ、木取り、墨付け、加工のすべての工程について理解し、興味関心を持つ。

2 学習のポイント

- 常に「なぜ？どうして？」という探求心を持ちながら木材加工実習に取り組む。
- 湧穂祭で販売をしますが、売るのはもったいないから自分でとっておきたいと思えるほど細部までこだわり、心を込めて製作できるようになる。

3 評価の基準および観点別割合

評価の観点	知識・技能	思考力・判断力・表現力	学びに向かう力、人間性	備考
1 定期考査	○	○		中間、期末、学年末考査
2 提出物	○	○		ファイル、プリント等
3 授業態度		○	○	授業の準備、話を聞く、協力して行動する
4 鑑定競技	○		○	内容を理解できたか
5 木工品	○	○	○	丁寧な仕上がりか
6				
観点別割合	40 %	30 %	30 %	

4 担当者からのメッセージ

グリーン環境科の森林活用類型の中でも一番柱となる実習です。ただ作るのではなく「どのような性質か？」「どこに気を付ければいいのか？」など考えて木材加工ができるようになっていきましょう。

5 学習計画

学期	月	学習単元		学習の到達目標
		座学	実習	
1 学期	4	1. 製材 鋸について 2. 木材の乾燥と保存 乾燥について 3. 木材の工作 工作法 木材加工機械 塗装	肘掛付きベンチの材料の確認 製材、カンナがけ、木取り 部材名をラベリング 墨付け (エンピツ、消しゴム、さしがね)	・製材で効率的な実習ができる。 ・カンナがけで効率的な実習ができる。 ・さしがねを使って丁寧に墨付けをすることができる。 ・角材に一周すべて墨付けをする場合は、誤差が出ないよう工夫することができる。
	5			
	6			
	7			
	8			
2 学期	9	1. 改良木材の製造 合板、集成材、木質ボード 類 2. 木材パルプと和紙 パルプの種類 3. 木炭 木炭の特性と用途 4. バイオマスの変換技術 利用	木材の加工 ホゾの加工 (ノコギリ クランプ) ホゾ穴の加工 (角ノミ盤、ノミ、金槌) ホゾとホゾ穴の調整 地獄ホゾの加工 組み上げ サンダー仕上げ、ニス塗	・両刃ノコギリは縦挽きと横挽きの特性を理解して使うことができる。 ・墨付けの線をギリギリ残しながら真っ直ぐ切ることができる。 ・角ノミ盤を正確に操作することができる。 ・ノミを使って調整する時、少しずつ削って正確に継ぐことができる。 ・地獄ホゾの原理を理解し、丁寧に加工することができる。
	10			
	11			
	12			
3 学期	1	1. キノコの生産と加工 キノコの生態 2. 山菜、薬用植物、つる等	卒業論文作成	・木材加工を行ううえで大切なことを表現することができる。
	2			
	3			

令和4年度 阿蘇中央高校阿蘇清峰校舎 シラバス

教科名	農業	科目	農業土木設計	単位数	2
学年	3	学科	G	担当者	瀬口 友紀
教科書	海文堂出版		副教材	図解 2級土木施工管理技士試験テキスト	

1 学習の目標…この教科を学んでどんな力が身につくのか

農地の基盤整備や人々が住みやすい環境を作るのが土木の役割である。橋や農道など土木構造物の種類を学び構造物の力学的性質を知る。

2 学習のポイント

土木構造物の役割を知り、設計を学ぶうえで施工や測量との関係性を理解していきましょう。

3 評価の基準および観点別割合

評価の観点	知識・技能	思考力・判断力・表現力	学びに向かう力、人間性	備考
1 定期考査	○	○		期末考査・学年末考査など
2 提出物		○	○	授業中のプリント・ファイルの記録・データ整理など
3 授業態度			○	授業中の態度や実験の取り組み状況など
4 資格試験	○		○	2級土木施工管理技士補試験より
5				
6				
観点別割合	50 %	30 %	20 %	

4 担当者からのメッセージ

○毎時間、前回の授業が理解できたか、小テストで振り返り確認していきます。
○6月実施される2級土木施工管理技術検定試験に向けて頑張りましょう。

5 学習計画

学期	月	学習単元		学習の到達目標
		座学	実習	
1 学期	4	○第2節 不静定ばりの基礎 構造の外的静定と不静定 固定ばりの計算		○静定ばりと不静定ばりの違いを答えられる。 ○不静定ばりの解法ができる。
	5	○第3節 柱 短柱と長柱 短柱の計算 長柱の計算		○短柱と長柱の特徴を答えられる。 ○長柱の支持条件が説明できる。 ○短柱と長柱の計算ができる。
	6	○第4節 トラス トラスの構造と特徴 内的静定と不静定 トラスの応力解法		○トラスの種類を答えられる。 ○トラスの応力解法ができるようになる。 ○2級土木施工管理技士補を受験する。
	7	○第5節 ラーメン ラーメンの構造と形式 ラーメンの構造と用途 ラーメンの解法		○ラーメン構造について答えられるようになる。 ○ラーメンの解法について理解できる。 ○ラーメンに作用する曲げモーメントについて理解する。
2 学期	8	○第6節鉄筋コンクリート構造 鉄筋コンクリートの特性	○異形鉄筋を入れた型枠づくり	○鉄筋コンクリートや鋼材の特性や種類、応力度について説明できる。
	9	○第6節 鉄筋コンクリート構造 許容応力度設計法 限界状態設計法 その他の一般構造細目	○異形鉄筋を入れた型枠づくり	○鉄筋コンクリートの長所を説明できる。 ○実習の手順や注意事項を説明することができる。 ○スラブやかぶりについて説明することができる。
	10	○第7節 鋼構造 鋼構造と鋼材 鋼部材の接合 鋼げた		○鋼材の特徴と種類について答えることができる。 ○リベット接合、高力ボルト接合、溶接接合について説明することができる。 ○溶接の種類について説明することができる。
	11	○第8節 基礎工 基礎工、基礎工のあらし 基礎工の設計		○基礎工の種類と特徴について説明できる。 ○基礎工の設計条件の説明ができる。
	12	○第9節 擁壁と水利構造物 擁壁のあらし、設計 ダム 頭首工		○擁壁の種類と特徴を説明できる。 ○ダムの種類や用途を説明できる。 ○頭首工の意義を理解し、各名称を答えることができる。
3 学期	1	○道路 道路のあらし、農道計画		○道路の種類を説明できる。 ○道路の構成を説明できる。 ○農道の種類や配置が説明できる。 ○路床の支持力試験の種類が答えられる。
	2			
	3			

令和4年度 阿蘇中央高校阿蘇清峰校舎 シラバス

教科名	農業	科目	土木施工	単位数	2
学年	3	学科	G	担当者	瀬口 友紀
教科書	実教出版「」		副教材	図解 2級土木施工管理技士試験テキスト	

1 学習の目標…この教科を学んでどんな力が身につくのか

- 他の専門科目の知識と関連させて、法規に基づいた農業土木及び土木工事の施工計画や工程管理ができる。
- 農業土木及び土木工事に必要な知識や技術を身につけることができる。

2 学習のポイント

- 1 2年次からの継続科目で、土木技術者として社会貢献するために必要となる技術や知識を学ぶ学問です。
- 2 様々な土木工事の工法や特徴を学び、国土の環境保全や自然災害の対策について理解を深めましょう。
- 3 土木工事の基礎となるコンクリートやセメントの実験に必要な基礎的な知識と技術を身につけましょう。

3 評価の基準および観点別割合

評価の観点	知識・技能	思考力・判断力・表現力	学びに向かう力、人間性	備考
1 定期考査	○	○		期末考査・学年末考査など
2 提出物		○	○	授業中のプリント・ファイルの記録・データ整理など
3 授業態度			○	授業中の態度や実験の取り組み状況など
4 資格試験	○		○	2級土木施工管理技士補試験より
5				
6				
観点別割合	50 %	30 %	20 %	

4 担当者からのメッセージ

- 6月に2級土木施工管理技士補を受験します。日々の授業を大切にして、合格目指して頑張りましょう。
- 社会における土木の仕事をイメージできるように、図や写真、動画を使って学習します。

5 学習計画

学期	月	学習単元		学習の到達目標
		座学	実習	
1 学期	4	○第2節 土工 種類、計画、準備 土量の変化率計算	土積計算演習	○土工の作業内容を全て答えることができる。 ○土量の変化率を用いて、土量を求めることができる。
	5	○第2節 土工 掘削と運搬、盛土 のり面保護 勾配について	土積図の作成	○土工の建設機械（7種類）の特徴を説明できる。 ○ブルドーザの作業量を求めることができる。 ○現状に適したのり面保護工法を答えることができる。 ○斜面の勾配を数値化したり、図示して説明できる。
	6	○第2節 土工 浚渫と埋立、軟弱地盤対策 土木法規について		○浚渫船の名称（5隻）と特徴が説明できる。 ○軟弱地盤対策工法を6工法以上答えることができる。 ○2級土木施工管理技士補を受験する。
	7	○第3節 コンクリート工 性質と配合、工程 圧縮強度試験 応力-ひずみ図	○セメントの密度試験 ○コンクリート圧縮強度試験（観察）	○コンクリートの基本的な材料（4つ）が答えられる。 ○セメントの密度試験ができる。 ○コンクリートの応力-ひずみ図を説明できる。
	8	○第3節 コンクリート工 検査、配筋		○スランブ試験の目的と実施方法を説明できる。 ○配筋図から「かぶり」の位置を説明できる。
2 学期	9	○第3節 コンクリート工 運搬、打込、養生		○コンクリート施工を工程順序を説明できる。 ○コンクリート打込の注意点を説明できる。 ○コンクリート「目地」の目的を説明できる。
	10	○第4節 基礎工 種類、根堀り工、 直接基礎、ケーソン		○根堀り工法の5工法を答えることができる ○直接基礎工の種類（5種）を答えることができる。 ○ケーソンの種類（2種）と特徴を説明できる。
	11	○第5節 道路工 アスファルト舗装 、コンクリート舗装		○アスファルト舗装の特徴を説明できる。 ○コンクリート舗装の特徴を説明できる。 ○舗装時に使用される建設機械を答えることができる。
	12	○第7節 農地整備の施工 土地改良事業 土層改良		○農地整備の目的を答えることができる。 ○土地改良事業のわかりやすく説明できる。 ○農地整備の順序を答えることができる。 ○土層改良（6工法）の名称と特徴が説明できる。
		○第8節 いろいろな施工技術 ダム、河川整備、暴風林 土木積算	○土木積算演習	○土木分野の環境への配慮について考えることができる。 ○単価表を活用して工事の積算ができる。 ○学習内容の整理、振り返りができる。
3 学期	1			
	2			
	3			

令和4年度 阿蘇中央高校阿蘇清峰校舎 シラバス

教科名	農業	科目	水循環	単位数	2
学年	3	学科	G	担当者	田添 裕治
教科書	実教出版「水循環」		副教材	土質試験 基本と手引き(地盤工学会)	

1 学習の目標…この教科を学んでどんな力が身につくのか

- 地球上の水の循環に関する課題を発見し、農業用水を含む水資源の保全と活用に関する実践的な力を養う。
- 水や土の基本的な性質を理解し、土木分野で応用できる技術を身につけ、社会貢献できる力を養う。

2 学習のポイント

- 1 水循環は、地球上の限られた資源である水の利用と保全を学ぶ学問です。
- 2 水の流れや土の分類・特徴を学び、水害や干ばつなどの災害を対策する土木事業との関連について理解を深めましょう。
- 3 土木の基礎となる水理や土質の実験に必要な基礎的な知識と技術を身につけましょう。

3 評価の基準および観点別割合

評価の観点	知識・技能	思考力・判断力・表現力	学びに向かう力、人間性	備考
1 定期考査	○	○		期末考査・学年末考査など
2 提出物		○	○	授業中のプリント・ファイルの記録・データ整理など
3 授業態度			○	授業中の態度や実験の取り組み状況など
4				
5				
6				
観点別割合	50 %	30 %	20 %	

4 担当者からのメッセージ

- 水の流れや土の性質を数値化するために、関数電卓や表計算ソフトを使用して公式、実験データの計算を行います。
- 社会における土木の仕事をイメージできるように、図や写真、動画を使って学習します。

5 学習計画

学期	月	学習単元		学習の到達目標
		座学	実習	
1 学期	4	○第1章 水と地球環境 水文循環と水収支 ○第2章 水と人間 農業用水の歴史		○地球上における水文循環を図示できる。 ○面積雨量(ティーセン法)の図解と解析ができる。 ○水収支式を答えることができる。 ○土地改良法をわかりやすく説明できる
	5	○第2章 水と人間 水資源の課題 ○第3章 水と農林業 多面的機能		○地球上の水の割合(%表示)を図示できる。 ○世界の水資源の課題を3つ以上答えることができる。 ○水田の多面的機能を答えることができる。 ○森林の多面的機能を答えることができる。
	6	○第4章 水と土の基本的性質 水の性質、密度	物質の密度測定 (水、氷、海水など)	○密度をわかりやすく説明できる。 ○水の物理的性質を答えることができる。 ○パスカルの原理を使った計算ができる。
	7	○第4章 水と土の基本的性質 静水圧、流速と流量、 層流と乱流	流速測定	○公式を利用し、様々な静水圧の計算ができる。 ○公式を利用し、流速と流量を計算できる。 ○公式を利用し、計算結果から層流と乱流を判別できる。
	8	○第4章 水と土の基本的性質 ベルヌーイの定理		○ベルヌーイの定理を説明することができる。
2 学期	9	○第4章 水と土の基本的性質 マニングの公式、損失水頭 最有利断面		○マニングの公式を利用し、流速を計算できる。 ○公式を利用し、摩擦損失水頭を計算できる。 ○水理学上最有利断面を説明できる。
	10	○第4章 水と土の基本的性質 土粒子の密度と比重 土の含水比測定	土の含水比試験 土の粒度試験	○土の粒径による呼び名を分類表に記入できる。 ○含水比試験ができる。 ○粒径加積曲線を利用して、土の粒径分布を説明できる。
	11	○第4章 水と土の基本的性質 湿潤密度、乾燥密度 コンシステンシー限界試験 土の締固め曲線	コンシステンシー限界試験 (液性限界試験・塑性限界試験)	○公式を利用し、土の湿潤密度、乾燥密度を計算できる。 ○コンシステンシー試験の使用器具を答えることができる。 ○液性限界・塑性限界試験ができる。 ○土の締固め曲線のグラフの特徴を説明できる。
	12	○第5章 農業水利 土壌の水分定数、かんがい		○土壌水分の定数とpF表示を図で説明できる。 ○水田かんがいの種類を全て答えることができる。 ○畑地かんがいの種類を全て答えることができる。
	1	○第5章 農業水利 水利施設 ○第6章 水と生活環境 水の有効利用、保全		○社会における水利施設の役割を説明できる。 ○水の有効利用や多面的機能を説明できる。 ○学習内容の整理、振り返りができる。
3 学期	2			
	3			

令和4年度 阿蘇中央高校阿蘇清峰校舎 シラバス

教科名	農業	科目	グリーンライフ	単位数	2
学年	3	学科	G	担当者	尾形 後藤 伊藤
教科書	実教出版 グリーンライフ		副教材	配付プリント	

1 学習の目標…この教科を学んでどんな力が身につくのか

- クラスメイトと協力して実習に取り組むことができる。
- 事象の原理原則を理解することができる。
- 自分の得意不得意を理解し、どのように行動すべきかを考えることができる。

2 学習のポイント

- 自分を見つめましょう！
- 他者と協力をしよう！お互いに思いやりを持って、周囲との協働を常に意識してください。
- これまでの学習を振り返ろう！初めてする内容は一つもありません。よりクオリティにこだわった実習を。

3 評価の基準および観点別割合

評価の観点	知識・技能	思考力・判断力・表現力	学びに向かう力、人間性	備考
1 定期考査	○	○	○	期末考査・学年末考査
2 提出物	○	○	○	各学期(担当がした期限)ごとにファイル提出
3 授業態度	○	○	○	教材の準備・授業中の態度等
4 卒論	○	○	○	グリーンライフの内容についてまとめた卒論のページ
観点別割合	40 %	40 %	20 %	

4 担当者からのメッセージ

- 阿蘇は熊本県だけでなく、日本が誇る素晴らしい場所です。そんな自然いっぱいの場所で実習できることに感謝をして、様々なことに積極的に行動する姿を期待しています。
- これまでの学習を振り返り、なぜその管理があるのかを考え、みんなと協力して実習に取り組んでください。

5 学習計画

学期	月	学習單元		学習の到達目標	
		座学	実習		
1 学期	4	実習とは	刈払い機のメンテナンス・使用	実習とは何かを理解できる 実習内容を理解し、他者と協力して取り組むことができる	
	5	農業鑑定競技(共通)の学習	露地野菜(夏野菜)の管理等	農業鑑定競技(共通)の学習に取り組むことができる	
	6	栄養繁殖とは		カランコエの繁殖	トマト・ナス・ピーマン等の夏野菜の管理ができる
	7				※演習林実習の参加※
	2 学期	8	秋野菜の特徴 シイタケ栽培について	露地野菜の管理等	実習内容を理解し、他者と協力して取り組むことができる 秋野菜の特徴について理解することができる。
9		露地野菜(秋野菜)の管理等		ハクサイ・ダイコン等の秋野菜の管理ができる シイタケ栽培について理解することができる。	
10		シイタケの管理		シイタケ浸水の意義について理解し、実習に取り組むこと できる。	
11		露地野菜(越冬野菜)の管理		タマネギ・ニンニク等の越冬野菜の管理ができる	
12		門松とは	門松の作成 圃場の整理	門松について理解し、伝統文化について自分の意見を まとめることができる。 圃場を整理し、時期作の準備(天地返し)ができる。 これまで学んできたことを卒論にまとめることができる。	
3 学期	1	学習のまとめ 学習のまとめ		これまでの学習についてまとめることができる。	
	2				
	3				

令和4年度 熊本県立阿蘇中央高等学校 シラバス（2・3年生）

教科	商業	科目	簿記（3年総合選択）	単位数	2
学年	3	学科	B科以外	担当者	永野 誉
教科書	新簿記（実教出版）		副教材	最新段階式簿記検定問題集改訂版3級（実教出版）	

1 学習の目標・・・この科目を学んでどんな力が身につくのか

簿記の学習を通じて、企業経営に欠かせない簿記の内容を知り、計算や記帳に習熟し、将来、社会で活躍できるような力を身につけることができます。

2 学習のポイント

昨年に引き続きの学習となります。得意な人は、予習・自学を、不得意な人は復習・自学を家庭で進めて下さい。授業・考查は教科書にそった問題集から出題します。

3 評価の基準および観点別割合

評価の観点	知識・技能（技術）	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	備考
1 定期考査	○			
2 提出物			○	
3 授業態度		○	○	
4				
5				
6 資格・検定				
観点別割合	80 %	10 %	10 %	

4 担当者からのメッセージ

2年生からの続きの学習になります。不得意だと思ふ人はもう一度基礎から先生の指示を受け復習しましょう。得意な人はどんどん先を自学して、簿記検定3級（7月）、簿記検定2級（1月）に挑戦してもいいかもしれません。

5 学習計画

学期	月	学習单元	学習の到達目標
1 学期	4	第16章 固定資産の取引 第17章 個人企業の資本と税金 第18章 販売費及び一般管理費と税金の取引	固定資産の意味と種類・取得・売却・固定資産台帳。資本の追加・元入れ・資本の引き出し・所得税と住民税。販売費及び一般管理費・個人企業の税金・消費税。以上について理解する。
	5	第19章 決算整理その1 第20章 8桁精算表	決算整理の意味・決算整理・貸し倒れ・減価償却。8桁精算表。以上について理解する。
	6	第21章 帳簿決算 第23章 伝票 第24章 決算整理	帳簿決算・会計帳簿の役割・分課制度と帳簿組織・帳簿の形式。費用収益の見越しと繰り延べ・有価証券の評価・減価償却。以上について理解する。
	7	第25章 財務諸表の作成	決算整理のまとめ・2区分損益計算書と貸借対照表を理解する。
	8	第26章 特殊な商品売買の取引	特殊な主客売買の取引・特殊な手形の取引について理解する。
2 学期	9	第27章 特殊な手形の取引 第28章 仕訳帳の分割 第29章 5伝票による記帳	自己受為替手形・手形の書き換え・不渡り・荷付為替手形・手形の保証債務。特殊仕訳帳、5伝票による記帳。以上について理解する。
	10	第30章 本支店の取引 第31章 本支店の財務諸表の合併	支店会計の独立・本支店会計の取引・支店相互間の取引の記帳。本支店の財務諸表合併・未達取引・合併貸借対照表と合併損益計算書の作成。以上について理解する。
	11	第32章 株式会社の取引 第33章 株式会社の取引	株式会社とは・株式会社の設立と基本仕訳・株式の発行・純利益の計上・剰余金配当と処分。以上について理解する。
	12	反復練習・まとめ	ドリル形式による総復習。
	1	反復練習・まとめ	ドリル形式による総復習。
3 学期	2		
	3		